

第1号議案 令和5年度事業報告、財産目録、貸借対照表、損益計算書並びに剰余金処分案承認の件

令和5年度事業報告

1. 会議に関する事項

期日・会場	種 別	出席者数	決議事項等
5. 4. 26 ハム・ソーセージ 会 館	正・副理事長 打 合 せ 会	正副理事長 4名	<ul style="list-style-type: none"> ・役員補選の件について ・令和5年総会・関連事業の役割分担について ・令和5年度常設委員会委員候補者について ・役員賠償責任保険の加入について ・支部長会議運営規程の改正について
	役 員 会	理事 17名 監事 1名	<ul style="list-style-type: none"> ・役員賠償責任保険の加入について ・令和4年度事業報告及び決算等について ・令和4年度資金管理実績と令和5年度資金管理計画について ・第75回通常総会提出議案について ・令和4年度資材斡旋目標額達成組合員の決定について ・第70回優良従業員被表彰者の決定について
	監 事 会	監事 1名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度収支決算に関する事項
5. 5. 30 沖縄県那覇市 「沖縄ハーバー ビューホテル」	正・副理事長 打 合 せ 会	正副理事長 4名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年春の褒章の受章について ・令和5年総会・関連行事の流れについて ・役付役員の互選等について ・物流の2024年問題に係る検討について
	役 員 会	理事 17名 監事 1名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度支部事業に対する助成要領及び助成額について ・令和5年度資材斡旋事業利用促進について ・支部長会議運営規程の一部改正について ・令和5年度常設委員会委員の委嘱について
	第75回通常総会	組合員 99名 (委任状を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ①令和4年度事業報告、財産目録、貸借対照表、損益計算書並びに剰余金処分案承認の件 ②令和5年度経費の賦課及び徴収方法決定の件 ③令和5年度手数料徴収方法決定の件 ④令和5年度事業計画決定の件 ⑤令和5年度収支予算決定の件 ⑥借入金最高限度決定の件 ⑦組合員に対する貸付金の最高限度並びに貸付利率決定の件 ⑧常勤理事報酬最高限度決定の件

期日・会場	種 別	出席者数	決議事項等
			⑨役員退任に伴う理事3名、監事2名補選の件
	役付役員 互選役員会	理事 17名 監事 2名	・役付役員の互選について
5. 9.27 東京都千代田区 「東京會舘」	正・副理事長 打合せ会	正・副理事長 4名	・令和6年4団体総会等の開催日程の変更及び開催 場所の決定について ・日本ハム・ソーセージ工業協同組合における物流 問題の対応について ・給与規程の見直しについて
	役 員 会	理事 17名 監事 2名	・食肉加工品の輸出に係る取組について ・ハム・ソーセージ製品等の価格改定等の状況につ いて
6. 1.30 東京都目黒区 「ホテル雅叙園 東京」	正・副理事長 打合せ会	正・副理事長 4名	・物流の2024年問題への対応について ・給与規程の改正について ・役員会決議事項（新規組合員加入）について
	役 員 会	理事 17名 監事 2名	・給与規程の改正について ・会員・組合員の加入について
6. 3.27 ハム・ソーセージ 会 舘	正・副理事長 打合せ会	正・副理事長 4名	・任期満了に伴う役員改選の件について ・SDGs推進委員会の機能の一部見直しについて ・松阪ハム株式会社及び大食加工株式会社の事業 停止に伴う対応について ・育児・介護休業等に関する規程の見直しについて
	役 員 会	理事 16名 監事 2名	・令和6年度予算の基本方針及び大綱について ・令和6年度収支予算について ・給与規程等の見直しについて

2. 庶務に関する事項

(1) 令和5年5月30日、沖縄県那覇市「沖縄ハーバービューホテル」において開催の第75回通常総会で、一部役員退任に伴う補選が行われた。その結果、次のとおり理事3名、監事2名が選出された。

【退任】畑 佳秀（理事長）、福田 武弘（常務理事）、宮坂 正晴（理事）

【選出】理事：木藤 哲大、外狩 光一、横田 和彦

監事：中村 哲也、堀川 善弘

次に、第75回通常総会に引き続き開催の役付役員互選役員会で役付役員の互選が行われた結果、次のとおり理事長1名、代表監事1名が選任された。

理 事 長：木藤 哲大（新任）

代表監事：堀川 善弘（新任）

(2) 令和5年6月1日、中小企業等協同組合法に基づき令和4年度決算関係書類並びに役員の変更届を農林水産大臣に提出した。

(3) 令和5年4月29日、多年にわたり食肉・食肉加工業に従事し、関係団体の要職にあつて組織の運営と業界の発展に尽力した功績により、組合員であり一般社団法人日本食肉加工協会（以下、「加工協会」という。）の副理事長である大和食品工業株式会社社長の竹内裕嗣氏が農林水産省関係の「黄綬褒章」、同じく組合員であり加工協会の理事である薩摩ハム株式会社社長の清田浩徳氏が厚生労働省関係の「藍綬褒章」の栄に浴された。

また、「竹内裕嗣氏黄綬褒章受章 清田浩徳氏藍綬褒章受章 合同祝賀会」が令和5年9月27日、東京會館7階「ウイステリア」にて開催された。

(4) 令和5年11月3日、多年にわたり食肉・食肉加工業に従事し、関係団体の要職にあつて組織の運営と業界の発展に尽力した功績により、本組合副理事長である天狗中田産業株式会社社長の中田二郎氏が「藍綬褒章」の栄に浴された。

(5) 令和6年3月4日、「如水会館」（東京都千代田区）にて開催された「第45回食品産業優良企業等表彰」の表彰式において、組合理事である銀河フーズ株式会社社長の金澤俊司氏に食品産業部門（経営革新タイプ）の「農林水産大臣賞」が授与された。

(6) 各支部の総会が、次のとおり開催された。

支 部 名	開 催 日	開 催 場 所
北 海 道 支 部	令和5年6月13日	札幌市「札幌グランドホテル」
東 北 支 部	令和5年6月20日	仙台市「仙台国際ホテル」
関 東 支 部	令和5年6月19日	千代田区「如水会館」
北 越 支 部	令和5年6月27日	加賀市「みやびの宿加賀百万石」
東 海 支 部	令和5年7月18日	名古屋市「ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋」
関 西 支 部	令和5年6月12日	大阪市「ホテルニューオータニ大阪」
中 国 支 部	令和5年6月17日	広島市「ひろしま八雲」
四 国 支 部	令和5年6月13日	米子市「なる美寿司」
九 州 支 部	令和5年6月13日	福岡市「ヒルトン福岡シーホーク」
沖 縄 支 部	令和5年6月28日	国頭郡「美らオーチャードゴルフ倶楽部レストラン」

なお、関西支部総会において木藤哲大氏（日本ハム㈱会長）が新支部長に選出された。

3. 組合員に関する事項（令和6年3月31日現在）

期 別	前 期 末 現 在	新 加 入 者	脱 退 者	今 期 末 現 在
組 合 員 数	121名	2名	3名	120名

4. 事業の概要

(1) 普及啓発及び消費拡大に関する事業

ア. 食肉情報等普及・啓発事業の実施について

消費者に食肉加工品に関する知識を普及啓発することを目的とし、加工協会及び食肉情報等普及・啓発事業検討委員会委員の協力を得ながら次のとおり事業を実施した。

①小冊子の作成及び配布

見開き A4 サイズカラー44 ページの小冊子「ハムソベQ&A大全」を4万部作成し、国産食肉消費促進イベント等の催事及び会員・組合員を通じて消費者に配布した。

②ホームページの拡充

冊子内のハムソベレシピの動画を作成し、ホームページ内のレシピコーナーを拡充するとともに、本事業で作成した小冊子をWEB BOOKにして新たに掲載、令和5年10月3日より公開した。

イ. その他催事出展について

令和6年3月5日～8日に開催された「第48回食肉産業展2024」に出展し、パネルの展示、幹旋資材・書籍の展示、冊子の配布（約1,000冊）等を行った。

(2) 経営の改善、品質・製造技術の向上に関する事業

ア. 技能検定の推進と実施について

令和6年2月3日、4日の2日間、学校法人竹岸学園にて、加工協会及び一般社団法人食肉科学技術研究所（以下、「食肉科研」という。）、検定委員及び学校関係者等の協力を得て、国家検定制度である令和5年度後期「ハム・ソーセージ・ベーコン製造」技能検定実技試験を実施した。1級40名、2級33名の「ハム・ソーセージ・ベーコン製造技能士」が誕生した。

イ. 日本食肉加工情報の発行について

毎月1回、機関誌「日本食肉加工情報」を加工協会と共同で発行し、食肉加工業に係る時事的な話題をはじめ、制度や経営、技術等の有用な情報のほか統計資料等の紹介を行い、組合員、関係官公庁、関係団体等に広く配布した。

ウ. 支部秋季研修会への参加

支部秋季研修会において、業界を取り巻く一般情勢について意見交換を行った。

支部名	開催日	開催場所
東北支部	令和5年10月10日	花巻市「花巻温泉ホテル紅葉館」
関東支部	令和5年9月8日	札幌市「ANAクラウンプラザホテル」
四国支部	令和5年10月17日	仲多度郡「琴参閣」
九州支部	令和5年11月7日	熊本市「アークホテル熊本城前」
沖縄支部	令和5年11月7日	沖縄市「割烹ひさごや」

(3) 国際経済環境の変化及び和牛肉の需要低迷への対応に係る事業

各種経済連携協定の発効に伴う国際経済環境の変化に対応するための食肉加工品の輸出の推進・拡大に係る事業及び和牛肉の需要低迷に伴い国が緊急経済対策として実施する以下の事業について、組合は事業実施主体となって取り組んだ。

ア. 国産食肉加工品国際競争力向上・製造基盤強化対策事業（J R A事業）

国産食肉加工品の国際競争力向上に資する取組を推進するため、日本中央競馬会（J R A）畜産振興事業として「国産食肉加工品国際競争力向上・製造基盤強化対策事業」を実施した（約 3,180 万円）。

- ①海外食肉加工品製造・消費・販売・品質等実態調査事業：ベトナム、イギリス・フランスを対象とした食肉加工品の製造・消費・販売等に関する現地調査を実施
- ②海外食肉加工品の品質評価事業：外国産生サラミについて、理化学的分析及び官能試験等を実施（食肉科研に委託）
- ③国産食肉加工品利用拡大対策事業：タイを対象とした食肉加工品の輸出制度、衛生管理制度等に関する現地調査を実施

イ. 和牛肉需要開拓支援緊急対策事業（A L I C事業）

新型コロナの影響等により和牛肉の需要低迷が長引いているため、食肉事業者が産地および小売業者や外食事業者（実需者等）と連携した和牛肉の新規需要開拓の取組に対して支援を行った。（7 事業者、約 1 億円）。

ウ. 和牛肉需要拡大緊急対策事業（うち和牛肉新規需要開拓支援緊急対策事業）（A L I C事業）

昨今の物価高騰に伴う消費者の生活防衛意識の高まり等により、和牛肉の需要が軟調に推移している状況にあるため、食肉事業者が行う和牛肉のフルセット販売等の取組に対して支援を行った（2 事業者、約 15 百万円）。

(4) 輸出促進に関する事業

ア. 品目団体輸出力強化緊急支援事業（一般社団法人日本畜産物輸出促進協会の委託事業）

日本産食肉加工品の輸出促進・拡大を図るため、以下のとおり実施した（約 6,600 万円）。

- ①「日本産食肉加工品の統一ロゴマーク」の商標登録に向けての対応を実施
- ②台湾、香港、東京でのイベント出展
日本産食肉加工品の特長や品質情報の P R、試食会及びアンケートの実施を通して、来場している流通業者やレストラン関係者・小売業者等に日本産食肉加工品をアピールすることにより、日本産食肉加工品に対する認知度向上、輸出拡大を図った。
- ③食肉加工品に関する正しい知識を普及するための小冊子翻訳版（英語、繁体字、簡体字）の作成及び展示会等での配布
- ④ホームページを整備し、食肉加工品の輸出に係る統一ロゴマークの紹介、展示会出展報告等を掲載。

イ. J E T R O へのフィリピンに関する調査依頼について

J E T R O により公表された「フィリピンにおける加工食品の輸入制度（2014 年 3 月）」について、前回調査より時間が経過していることから、最新版への改訂及び食肉加工品に係る追加調査を依頼し、調査報告内容を輸出部会員に周知した。

(5) 食肉加工品輸出協議会の事務局としての活動

以下により、協議会の事務運営を行った。

ア. 会議の開催について

- ・令和5年4月27日 役員会（ハム・ソーセージ会館）
- ・令和5年6月30日 役員会（書面）
- ・令和5年8月2日 第3回通常総会（ハム・ソーセージ会館）

イ. 組織改編について

日本畜産物輸出促進協議会の一般社団法人日本畜産物輸出促進協会への法人化に伴い、ハム組合が事務局を務める食肉加工品輸出部会の食肉加工品輸出協議会への組織改編、規則の改正等を行い、輸出協会の団体会員となった。

(6) 物流の2024年問題への対応に関する活動

ア. 自主行動計画の作成及び公表について

SDGs推進委員会の傘下に「物流問題検討ワーキンググループ」を6月に設置、業界が抱える今後の課題等について検討・協議する会議を13回開催した。この中で、令和5年6月2日に政府が策定した「物流革新に向けた政策パッケージ」に基づき「物流の適正化・生産性向上に向けた食肉加工業界の自主行動計画」を作成、11月21日に農林水産省へ提出するとともに当組合ホームページにて公表した。

イ. 4社共同宣言への協力について

上記「自主行動計画」のうち、喫緊に取り組む必要がある項目について大手4社が共同宣言を出すにあたり、業界カルテルとの指摘を受けないよう公正取引委員会へ事前相談を行い、SDGs推進委員会に報告の上で、12月1日の「SDGsへの貢献と持続可能な物流のための食肉加工業界取組宣言」の記者発表会開催に協力した。

(7) エネルギー・環境問題に関する事業

環境自主行動計画について、2030年を目標年度とする「食肉加工業界の環境自主行動計画」に係る令和5年度フォローアップ調査（令和4年度実績）を実施し、その調査結果を令和5年11月7日に農林水産省へ報告するとともに、令和6年3月1日に当組合ホームページに掲載した。

(8) 原料対策に関する事業

「食肉に関する情報交換会」を2回開催（9月21日、12月26日）し、原料食肉の需給・価格・輸入動向に関する情報・意見交換を行った。また、令和6年4月24日に「原料対策委員会」（令和5年度の委員）を開催し、食肉を巡る情勢等について意見交換を行った。

(9) 資材の共同購入事業

ア. 事業の実施状況について

令和5年度は、天然ケーシング（羊腸・豚腸等）、食品添加物、人工ケーシング（コラーゲン等）、香辛料、包装資材、作業用品、試験器具等、総額約54.6億円の資材斡旋を行った。

イ. 資材斡旋目標額達成組合員の表彰について

令和4年度の資材斡旋目標額を達成・準達成した合計10組合員に対し、感謝状及び記念品を贈呈した。

(10) リース事業

ア. 食肉加工施設等整備リース事業について

令和5年度は、合計63件、約4.4億円の新規貸付を行った。内訳としては、製品の安心・安全を担保するためのX線等の異物検査装置を中心に貸し付けた。

イ. 恵比寿リース事業について

令和5年度は、合計50件、約3千5百万円の新規貸付を行った。内訳としては、厨房機器等を中心に貸し付けた。

(11) 調査・研究及び情報提供に関する事業

ア. 食肉加工品流通調査事業の実施について

食肉及び食肉加工品の需給の実態等を把握することを目的とし、組合員からの生産量等の報告をもとに食肉加工品流通調査を実施し、その結果を機関誌「日本食肉加工情報」及びホームページに掲載した。

イ. 関係官公庁、関係団体との連絡協調について

農林水産省、厚生労働省、消費者庁、経済産業省、公正取引委員会、関係団体等からの通知及び案内は、その都度組合員に速やかに情報提供を行った。

(12) 組合員の福利厚生に関する事業

ア. 優良従業員の表彰について

組合員の従業員として永年勤続し、勤務成績良好で他の範とするに足る優良従業員に対し、加工協会と合同して、30年以上の勤続者には表彰状及び記念品を、20年以上の勤続者には表彰状を贈呈した。

被表彰者	30年以上勤続者	伊藤ハムデイリー株式会社	小倉 訓 氏	他全77名
	20年以上勤続者	信州ハム株式会社	井出 かすみ 氏	他全15名

イ. 組合員に対する慶弔について

組合員の慶弔に対し、加工協会と合同して規程に基づき慶弔の意を表した。

慶 弔 6 件